

福住 伸一 氏

(高校3 1回卒)

国立研究開発法人理化学研究所

革新知能統合研究センター 副チームリーダー



<経歴>

- 1984年 3月 慶應義塾大学工学部卒業、1986年3月管理工学科修士了
- 1986年 4月 日本電気(株)入社(～2018年3月)
- 1991年 3月 慶應義塾大学 工学博士
- 2014年 4月 はこだて未来大学 客員教授(～2015)
- 2016年 4月 人間工学専門家認定機構長/日本人間工学会理事(～2020年)
- 2018年 4月 国立研究開発法人理化学研究所革新知能統合研究センター入所
- 2020年 6月 ISO/TC159(人間工学)/SC4-ISO/IEC JTC1/SC7(ソフトウェア工学)国際会議共同議長(～現在)
- 2021年 2月 公立千歳科学技術大学客員教授(～現在)
- 2021年 4月 東京都立大学客員教授(～現在)
- 2022年 4月 国立研究開発法人理化学研究所革新知能統合研究センター副チームリーダー

<主な活動内容>

大学時代はテニスばかりやっていたのですが、大学4年時に出会った「人間工学」という学問に心を動かされ慌てて勉強し大学院に進学。(入試面接の際、学科の教務主任教授から「君はこの成績で大学院に行くつもりか!」と怒られました。学科試験がクリアできていたのでセーフでした)。就職もこの領域の研究ができる所を探しました。それから40年近く小さなテーマ変更はあったにせよ、学生時代からの研究が続けられるのは幸せ(ある意味不器用)です。口の悪い指導教授から「人間工学なんてやっても儲からないからさっさとやめなさい」と言われ続けたのですが、卒業後20年位して「君はまだそんな事を

やっているのか。『僕に似て』諦めが悪い奴だな」と言われ、やっと認められたような気がして嬉しかったですね。この言葉が支えになり、先生が立ち上げた人間工学の国際標準の国内委員会を引き継ぎ活動できています。企業では儲からない事などやり続けられないので、いかに会社の役に立つ研究なのかを説明し続けていました。確かに諦めが悪いですね。

<受賞歴、メディア実績、発行物等>

- ・ 日本人間工学会認定人間工学専門家（2003）
- ・ 2021 年度経済産業省産業標準化事業 経済産業大臣賞（2021）
- ・ NPO 法人人間中心設計推進機構 HCD 研究発表会優秀講演賞(2020)
- ・ ULAERGO(ラテンアメリカ人間工学連合)貢献賞(2016)
- ・ 福住、笠松：「製品開発のための HCD 実践」近代科学社（2021）
- ・ 福住、平沢、小林：「ユーザビリティのための産業共通様式と人間中心設計プロセス-国際標準の全貌とその使い方」日本規格協会（2021）
- ・ 福住、西山、梶谷、北村：「事例で学ぶ 人を扱う工学研究の倫理」近代科学社（2023）
- ・ 平沢、福住（編著）：「顧客経験を指向するインタラクション」小樽商大出版（2023）
- ・ YouTube『RIKEN Channel』新着動画（新型コロナウイルスとの戦い Vol.3）：「テレワークが人間に与える影響の調査・改善策の策定」

<高校時代はどんな学生だった？>

勉強は試験の1週間前位だけで、テニスやロック同好会で楽しんでいました。ただ、そんなに目立つ方ではなかったと思います（周りに色々な意味で凄い人が沢山いたから）。自由な校風だったので、わりと好き勝手していたように覚えています。高2の終わり頃に理系か文系で迷っていた時に担任の先生から「お前は文系に向いているからそっちにしろ」と言われ続け、そこまで言う理由を伺った所「文系の人数が一人足りないから」とのことでした。それに反発し理系に進んだのですが、それが無ければ今の私はなかったかもしれませんね。

<在校生・卒業生（後輩）へのメッセージ>

高校時代は何か1つを集中してやった事が無いので、ちょっと後悔はありますが、色々な事に興味を持つのは悪い事ではないかな？とも思います。また、学生時代でないとできない事が沢山あります。勉強は卒業した後でも一生できますが、部活や様々な学外活動は学生時代でないとできませんし、その時苦楽を共にした仲間は一生の宝物になります。若い時は多少欲張って色々な事に手を出しても、何とかやっていけるもの。自分で限界を決めずに楽しんでください（もちろん健康第一で）。